

関 雅夫さん（平成 22 年 7 月）

拝啓、時下益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。

さて、協力隊を育てる会現地視察の旅(※1)のご報告がてら、当日の写真・動画(※2)を添付致しますのでご高覧下さい。

私の赴任しておりますカサブランカの柔道場に私の家族7人が見に来てくれました。母が着物を着て来てくれ、又私の指導している皆様に日本のお茶や扇子・金平糖・鶴その他の折り紙や諸品を差し上げたり、又扇子の使い方等をご説明致しました。モロッコの皆様方は大変興味しんしんで、又差し上げた日本の諸品を大変喜んで頂き、頬の右・左と接吻するここモロッコの挨拶の接吻攻めに合い、私どもも大変楽しく充実した文化交流の一時を過ごす事ができ、大変感謝致しております。

其れでは皆様、お体ご自愛の上元気で過ごして下さい。

敬具

カサブランカより 21-2次隊 SV(シニア海外ボランティア) 関 雅夫

※1 「協力隊を育てる会 現地視察の旅」とは、隊員の留守家族や友人が任地を訪問し、活動を視察する旅で、昭和 61 年から毎年1回実施されています。詳しくは[協力隊を育てる会ホームページ](#)をご覧ください。

※2 動画は、[神奈川県ホームページ](#)の掲載をご覧ください。

